

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 ふあんふあん

公表日 令和7年1月21日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		子どもの相性や人数などに合わせてスペースを確保していきたい	2階を利用するなど効率よくしていきたい
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適切になるようにしている	随時スタッフの募集をしていく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		色々な点を見直して配慮していくようにしている	目で見てわかるようにしていく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		わかりやすく環境整備していく	わかりやすく環境整備・空間を活用していく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			適宜、部屋を分けるなどの工夫をしている
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎月会議を行いスタッフ間で情報の共有をしている	毎月会議を行いスタッフ間で情報の共有をしている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者評価や意向を受けて改善していくようにしている	保護者評価や意向を受けて改善していくようにしている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			毎日、ミーティングをして共通理解していきたい
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者の外部評価行っていけるようにしていく	第三者の外部評価行っていけるようにしていく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		講習や研修に積極的に参加していく	講習や研修に積極的に参加していく
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		まだされていないので早急にプログラム作成を行う	スタッフで共通理解をしていきたい
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	○		保護者の意見を伺い適切に支援計画を立てていけるようにしていく	スタッフで共通理解出来るようにする
	13	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		スタッフの意見を踏まえながら計画をしていけるようにする	スタッフで共通理解出来るようにする
	14	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		毎日のミーティングで共有していく	スタッフで共通理解出来るようにする
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々行っていくようにしている	スタッフで共通理解出来るようにする
	16	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			出来るように工夫してスタッフ共通理解のもと行っていけるようにする
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			出来るように工夫してスタッフ共通理解のもと行っていけるようにする
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		色々な物を取り入れて工夫している	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	○			行っていけるようにしていく	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日ミーティングをして振り返りや注意点を確認している	工夫してスタッフ共通理解のもと行っていけるようにする	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日ミーティングをして振り返りや注意点を確認している	工夫してスタッフ共通理解のもと行っていけるようにする	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日ミーティングをして振り返りや注意点を確認している	工夫してスタッフ共通理解のもと行っていけるようにする	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		保護者の要望などを入れて見直していく	スタッフ共通理解のもと行っていけるようにする	
	24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○				
	25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			行っているがなかなか上手くはいかない時がある	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			出来る範囲で参加していく	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			地域医療などを活用していけるようにする	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			連携を図っていけるようにしていきたい	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			行っていないが必要となれば行ってきたい	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			連絡帳や日々の送迎時に保護者との連絡をしている	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			行っていないが必要となれば行ってきたい	
	32	【児発事業所・児発センターのみ】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。					
	33	【児発事業所・児発センターのみ】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。					
	34	【児発センターのみ】 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	35	【児発センターのみ】 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	36	【児発センターのみ】 (自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	37	【放デイのみ】 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○				送迎時に意見交換をしている
	38	【放デイのみ】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○				行っていないが連携を取っていけるようにしていきたい
39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○				他事業所や施設を訪問していき、連携が取れるようにしたい	

	40	<u>【放デイのみ】</u> （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		参加出来るようにしていきたい
保 護 者 へ の 説 明 等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○		
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		○		
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。		○		
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		○		迅速に対応していきたい
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		行っていないが必要となれば行っていきたい
	46	子どもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○		迅速に対応していきたい
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○		SNSを活用して配信している
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○		
	49	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○		
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域住民の方には挨拶するなどコミュニケーションをしている
	51	<u>【放デイのみ】</u> 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		○		迅速に対応していきたい
非 常 時 等 の 対 応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		訓練は年一回行っている
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		訓練は年一回行っている
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○		
	55	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		迅速に対応していきたい
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		迅速に対応していきたい
	57	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		面談時などに説明している。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○		
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○		
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○		